

日本篆刻家協会 創立二十五周年記念

日中名家刻印選

日本篆刻家協会 編著

芸術新聞社

日本篆刻家協会創立二十五周年記念
日中名家刻印選

二〇〇九年 五月一四日 初版第一刷発行

編著者 日本篆刻家協会

発行人 相澤正夫

発行所 株式会社芸術新聞社

東京都千代田区神田神保町三―六 能楽書林ビル

郵便番号 一〇一―〇〇五一

電話 〇三―三二六三―一六三七 (販売)

〇三―三二六三―一六二三 (編集)

FAX 〇三―三二六三―一六五九

URL <http://www.gei-shin.co.jp>

印刷・製本 昭和情報プロセス株式会社

© Nihontenkokukakyokai, 2009 Printed in Japan

落丁・乱丁本はお取り替えいたします。

本書の内容を無断で複製・転載することは、著作権法上の例外を除き禁じられています。

日本篆刻家協会創立二十五周年祈念賦

『日中名家刻印選』の刊行によせて

日本篆刻家協会創立二十五周年を迎えるにあたり、創立四半世紀に亘る慶事の企画として、かねてより構想のあった協会役員が蒐集に努めている近代日本、中国印人の印を編輯し、記念印譜に輯録することを提案させて頂きました。

この企画の趣旨を役員皆様に説明したところ、多数の收藏会員より快諾を賜り、記念刊行の決定をみました。各記念行事についても企画委員会、常務理事会、理事会に議り承認を得て、ここに当協会創立以来初めての役員総意による記念行事が開催出来ます事を喜びと致します。

尚、印の輯録については早速、編集委員会による編集方針の検討に入り、日中の印人を一冊に纏め、両国の篆刻芸術の精華を集約して双方の先達を偲び、更には会員諸兄の製作に益する事を第一とする編集に決定をみました。

現在在籍の当協会会員に、二十五周年の記念品として贈呈出来ます事を感謝すると共に、收藏印をご提供賜りました会員各位に対して厚くお礼申し上げます。相互に協会創立二十五周年の慶事を祝したいと存じます。

ご多忙のなか編輯にあられた委員各位には、そのご労苦に対して厚くお礼申し上げます。

此度の記念刊行が、次なる飛躍に向けて協会発展の祈念賦となります事を願ってやみません。

平成二十一年 己丑五月

日本篆刻家協会理事長

山下方亭

祝愿日本篆刻家协会创立二十五周年

在《日中名家刻印选》刊发之际

在迎来日本篆刻家协会创立二十五周年之际，作为二十五周年庆典活动内容，我提议将协会干部们长年努力所收集的近代日中印人之印作，汇编成纪念印谱，这是我一直以来的构想。

此构想之趣旨向协会干部们阐述后，得到了多数拥有藏品会员的欣然允诺，遂决定编辑刊行此纪念印谱。有关庆典的其它各项活动也由企画委员会、常务理事会和理事会商议通过。这是协会成立以来，首次由全体协会干部共同商议通过并举办的纪念活动，实属可喜之至。

此外，编辑委员会也专门就印作的辑录进行了商讨，最终决定将日中印人之作品集成一册，以展现两国篆刻艺术之精华，追思日中双方之先贤，并能启发协会同仁的创作灵感而作为编辑之方针。

能将此特刊作为协会成立二十五周年庆典之纪念品赠送给在籍会员，我深感高兴。同时也向无私地提供藏品的各位会员表示衷心的感谢。藉此共同庆祝本协会创立二十五周年。

对百忙之中抽出时间参加编辑工作并付出辛苦劳作的各位委员们表示真诚的谢意。
希望本次纪念印谱的刊发，能转换成一种协会向着崭新局面发展的祈愿。

二〇〇九年 己丑五月

日本篆刻家协会理事长

山下方亭

近代日本名家四十三人

羽倉可亭	8
福井端隱	8
安部井樸堂	9
四世浜村藏六	10
中井敬所	13
円山大迂	14
田口逸所	18
初世中村蘭台	19
山田寒山	24
近藤尺天	27
桑名鉄城	28
梨岡素岳	30
石川蘭八	31
標 兜谷	32
足達疇邨	32
河井荃廬	33
奥村竹亭	34
石井雙石	35
香取秀真	36

松浦羊言	36
服部畊石	37
河井章石	38
高畑翠石	40
河西笛洲	41
河西鴻洲	44
三宅綠邨	45
園田湖城	46
楠瀬日年	49
新間静邨	50
北村春歩	51
二世中村蘭台	54
飯田秀処	55
植松香城	56
阪井呉城	57
谷 聴泉	58
佐藤桃巷	59
山田正平	60
松丸東魚	62
香川峯雲	64
生井子華	65

小松貫城	66
内藤香石	67
森田緑山	68
吳讓之	70
徐三庚	71
何昆玉	72
陸 泰	73
胡 鐸	74
吳昌碩	76
趙 穆	83
黃士陵	84
方仰之	85
徐新周	85
齊白石	87
鍾以敬	89
羅振玉	90
葉葉舟	90
吳 隱	91

丁二仲	92
王冰鉄	94
褚德彝	94
童大年	95
趙 石	96
易大厂	97
趙時桐	98
陳衡恪	99
吳 涵	99
陳 年	100
經亨頤	100
高時顯	101
金城	102
丁輔之	102
黃少牧	103
王 昶	104
王雪民	107
周梅谷	108
張樾丞	109
鄧尔雅	109
謝磊明	110

童大年	218
趙石	220
易大厂	223
趙時桐	225
陳衡恪	226
吳涵	226
陳年	227
李苦李	228
經亨頤	228
金城	229
費龍丁	229
高時顯	230
黃少牧	231
王禔	232
王慧	238
李尹桑	238
樓邨	239
周梅谷	240

王雪民	241
張樾丞	242
陳澹如	243
鄧尔雅	244
謝磊明	244
寿石工	245
唐醉石	246
高絡園	247
于非厂	247
武鍾臨	248
馬公愚	248
談月色	249
朱積誠	250
喬大壯	250
張志魚	251
金鉄芝	253
張石園	253
錢厓	254

王个簃	255
鄧散木	256
張魯厂	259
方介堪	260
諸棗三	262
朱復戡	262
陶寿伯	263
鄒夢禪	264
支慈厂	265
来楚生	266
韓登安	268
陳巨來	270
朱其石	272
張寒月	273
金禹民	274
錢君匋	275
吳振平	275
葉潯淵	276

白焦	277
頓立夫	277
余仲嘉	278
余任天	278
童雪鴻	279
唐雲	279
于希寧	280
秦彦冲	280
高石農	281
单曉天	281
吳朴堂	282

日本篆刻家協会 創立二十五周年記念

日中名家刻印選

日本篆刻家協会 編著

芸術新聞社

日本篆刻家協会創立二十五周年祈念賦

『日中名家刻印選』の刊行によせて

日本篆刻家協会創立二十五周年を迎えるにあたり、創立四半世紀に亘る慶事の企画として、かねてより構想のあつた協会役員が蒐集に努めている近代日本、中国印人の印を編輯し、記念印譜に輯録することを提案させて頂きました。

この企画の趣旨を役員皆様に説明したところ、多数の收藏会員より快諾を賜り、記念刊行の決定をみました。各記念行事についても企画委員会、常務理事会、理事会に議り承認を得て、ここに当協会創立以来初めての役員総意による記念行事が開催出来ます事を喜びと致します。

尚、印の輯録については早速、編集委員会による編集方針の検討に入り、日中の印人を一冊に纏め、両国の篆刻芸術の精華を集約して双方の先達を偲び、更には会員諸兄の製作に益する事を第一とする編集に決定をみました。

現在在籍の当協会会員に、二十五周年の記念品として贈呈出来ます事を感謝すると共に、收藏印をご提供賜りました会員各位に対して厚くお礼申し上げます。相互に協会創立二十五周年の慶事を祝したいと存じます。

ご多忙のなか編輯にあられた委員各位には、そのご労苦に対して厚くお礼申し上げます。

此度の記念刊行が、次なる飛躍に向けて協会発展の祈念賦となります事を願つてやみません。

平成二十一年 己丑五月

日本篆刻家協会理事長

山下方亭

祝愿日本篆刻家协会创立二十五周年

在《日中名家刻印选》刊发之际

在迎来日本篆刻家协会创立二十五周年之际，作为二十五周年庆典活动内容，我提议将协会干部们长年努力所收集的近代日中印人之印作，汇编成纪念印谱，这是我一直以来的构想。

此构想之趣旨向协会干部们阐述后，得到了多数拥有藏品会员的欣然允诺，遂决定编辑刊行此纪念印谱。有关庆典的其它各项活动也由企画委员会、常务理事会和理事会商议通过。这是协会成立以来，首次由全体协会干部共同商议通过并举办的纪念活动，实属可喜之至。

此外，编辑委员会也专门就印作的辑录进行了商讨，最终决定将日中印人之作品集成一册，以展现两国篆刻艺术之精华，追思日中双方之先贤，并能启发协会同仁的创作灵感而作为编辑之方针。

能将此特刊作为协会成立二十五周年庆典之纪念品赠送给在籍会员，我深感高兴。同时也向无私地提供藏品的各位会员表示衷心的感谢。藉此共同庆祝本协会创立二十五周年。

对百忙之中抽出时间参加编辑工作并付出辛苦劳作的各位委员们表示真诚的谢意。
希望本次纪念印谱的刊发，能转换成一种协会向着崭新局面发展的祈愿。

二〇〇九年 己丑五月

日本篆刻家协会理事长

山下方亭

近代日本名家四十三人

羽倉可亭	8
福井端隱	8
安部井樸堂	9
四世浜村藏六	10
中井敬所	13
円山大迂	14
田口逸所	18
初世中村蘭台	19
山田寒山	24
近藤尺天	27
桑名鉄城	28
梨岡素岳	30
石川蘭八	31
標 兜谷	32
足達疇邨	32
河井荃廬	33
奥村竹亭	34
石井雙石	35
香取秀真	36

松浦羊言	36
服部畊石	37
河井章石	38
高畑翠石	40
河西笛洲	41
河西鴻洲	44
三宅綠邨	45
園田湖城	46
楠瀬日年	49
新間静邨	50
北村春歩	51
二世中村蘭台	54
飯田秀処	55
植松香城	56
阪井呉城	57
谷 聴泉	58
佐藤桃巷	59
山田正平	60
松丸東魚	62
香川峯雲	64
生井子華	65

小松貫城	66
内藤香石	67
森田緑山	68
吳讓之	70
徐三庚	71
何昆玉	72
陸 泰	73
胡 鐸	74
吳昌碩	76
趙 穆	83
黃士陵	84
方仰之	85
徐新周	85
齊白石	87
鍾以敬	89
羅振玉	90
葉葉舟	90
吳 隱	91

丁二仲	92
王冰鉄	94
褚德彝	94
童大年	95
趙 石	96
易大厂	97
趙時桐	98
陳衡恪	99
吳 涵	99
陳 年	100
經亨頤	100
高時顯	101
金城	102
丁輔之	102
黃少牧	103
王 昶	104
王雪民	107
周梅谷	108
張樾丞	109
鄧尔雅	109
謝磊明	110

錢君匋	金禹民	朱其石	張寒月	陳巨來	鄒夢禪	傅抱石	韓登安	支慈厂	來楚生	陶寿伯	方介堪	劉伯年	鄧散木	王个簣	錢 厓	金鉄芝	張志魚	朱積誠	馬公愚	武鍾臨	于非厂	唐醉石	高絡園	寿石工
138	137	136	135	133	132	131	130	129	128	127	126	125	122	121	119	118	117	116	116	115	114	114	112	110

河井荃廬	足達疇邨	石川蘭八	五世浜村藏六	郡司梅所	桑名鉄城	塚原三谷	山田寒山	近藤尺天	初世中村蘭台	蘆野楠山	田口逸所	円山大迂	四世浜村藏六	羽倉可亭	近代日本篆刻名家印譜					吳朴堂	方去疾	童雪鴻	單曉天	頓立夫	葉路淵	吳振平
156	155	154	154	153	153	152	152	151	150	150	149	148	147	146					144	142	142	141	140	139	139	

寺西念齋	松谷石韻	加藤紫山	岡村梅垞	佐藤桃巷	山田正平	阪井呉城	植松香城	二世中村蘭台	北村春步	新聞静邨	楠瀬日年	山内敬齋	林 樂園	三宅緑邨	園田湖城	河西鴻洲	河西笛洲	高畑翠石	河井章石	植松古竹	服部畊石	松浦羊言	石井雙石	奥村竹亭
189	189	188	188	187	184	183	182	179	178	177	174	173	172	172	170	169	166	164	162	161	160	159	157	156

緒德彝	王冰鉄	丁二仲	吳 隱	葉葉舟	鍾以敬	徐新周	黃士陵	方仰之	趙 穆	胡 鑊	陸 泰	閔魯孫	何昆玉	徐三庚	汪 鏞	吳讓之	近代中国篆刻名家印譜	森田緑山	高畑素石	保多孝三	小松貫城	生井子華
218	216	214	213	213	208	202	201	201	200	198	197	196	196	195	194	194		192	191	191	190	190

童大年	218
趙石	220
易大厂	223
趙時桐	225
陳衡恪	226
吳涵	226
陳年	227
李苦李	228
經亨頤	228
金城	229
費龍丁	229
高時顯	230
黃少牧	231
王禔	232
王慧	238
李尹桑	238
樓邨	239
周梅谷	240

王雪民	241
張樾丞	242
陳澹如	243
鄧尔雅	244
謝磊明	244
寿石工	245
唐醉石	246
高絡園	247
于非厂	247
武鍾臨	248
馬公愚	248
談月色	249
朱積誠	250
喬大壯	250
張志魚	251
金鉄芝	253
張石園	253
錢厓	254

王个簪	255
鄧散木	256
張魯厂	259
方介堪	260
諸棗三	262
朱復戡	262
陶寿伯	263
鄒夢禪	264
支慈厂	265
来楚生	266
韓登安	268
陳巨来	270
朱其石	272
張寒月	273
金禹民	274
錢君匋	275
吳振平	275
葉潯淵	276

白焦	277
頓立夫	277
余仲嘉	278
余任天	278
童雪鴻	279
唐雲	279
于希寧	280
秦彦冲	280
高石農	281
单曉天	281
吳朴堂	282

ブックデザイン ● 宝利秀夫

近代日本名家
四十三人



羽倉 可亭

(1799~1887)

名・良信、字・子文、号・可亭、本性・荷田氏。
代々京都伏見稲荷の祠官。篆刻を僧月峯、細川
林谷に学ぶ。『可亭印譜』がある。

鍋島・直彬

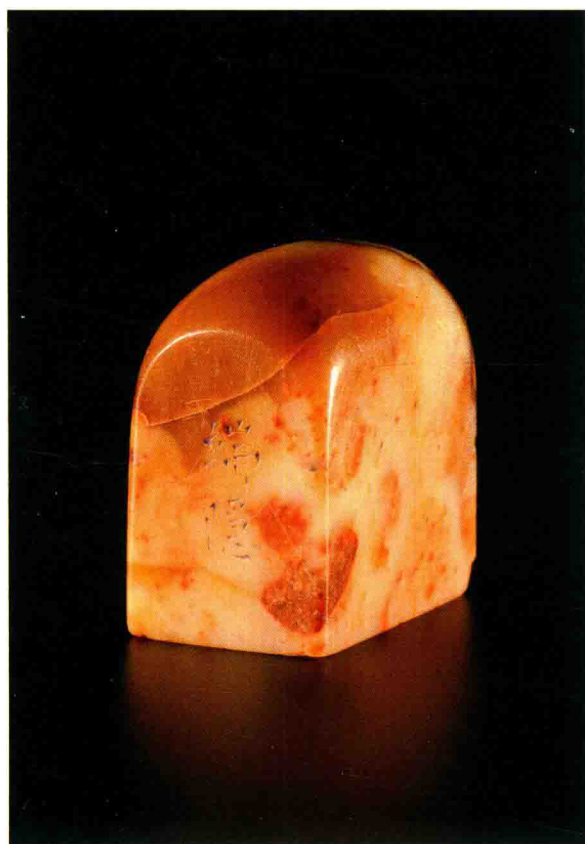


福井 端隠

(1800~1885)

初名・武熙、榎本氏。福井氏を嗣ぎ末彰と改む。
字・孔彰、号・凹隅、雨洗、齋堂・緑雪書屋。
通称帯刀。江戸の人。

聊自樂



安部井 櫟堂

(1808~1883)

名・斎、字・大介、号・芥舟。通称・音門のち音人。本姓・岡氏。近江安部井村の人、よつて氏とした。京都に出て篆刻を業とし、御璽・国璽を刻す。『鉄如意印譜』がある。

梅華繞屋

